

# コンクリートのもったいない

---

いままでの基準などでは用いることのできなかつた材料を、なんとか用いることができるようにすることが、SDG などにも繋がるのではないのでしょうか。

## ・海水の利用

今後の水資源不足を考えて、海水を例えば練り混ぜ水や養生水として使用してはどうか。

海洋環境下では、高炉セメントを用いるとほとんど問題なく使用できるようです。また、無筋コンクリートで海水を使用することは全く問題がないことを説明します。

特に、寒冷地の海中部では有利となります。

## ・低品質骨材の利用

今後、今まで使用した骨材も不足します。島国ではサンゴ骨材、火山国では火山岩、バングラではレンガ骨材を使用しています。これらの骨材をどのように使用すればよいかを説明します。

## ・焼却灰の利用

エコセメントで焼却灰を使用していますが、高価で使用が進みません。焼却灰を混和材として使用することを検討しました。

・その他の材料（竹、砂漠の砂、氷（クリープがトンデモなく大きい）、）の活用可能性

今後は、いままでよりも不利な（低品質な）材料を使用して、いままでと同等以上のコンクリートを製造する技術が重要と考えます。